

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8336
担当部課名	環境事業部	清掃総務	課	
事務事業名	環境事業部職場研修費		事業コード	21220

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	人と自然にやさしい地域社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第2節	リサイクル型社会の構築	~63年度
施策名	第2施策	廃棄物の適正処理の推進	

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
環境事業部の職員として必要な基礎的・専門的知識や技術の習得に向けて、自主的・主体的に研修を計画・実施し、職場の活性化、業務の円滑な推進及び市民サービスの向上を図る。 また、交通事故や公務災害を未然に防止し、公務員としての自覚を深めるために必要な研修の充実を図る。		環境事業部職員 (南・北清掃工場、東清掃事業所職員を除く)	
		対象数	315人
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
職場基本研修...5件 553人 職場専門研修...8件 633人 専門派遣研修...11件 11人 視察派遣研修...3件 15人 事業費(決算額)...348千円		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~年度

4 評価指標

指標名	研修実施率		
指標式	決算額 / 予算額 × 100		
指標設定の意図	当初の予定どおり計画的に研修が実施できたかを表す		

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	64	69	a 67	b 90	90	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	377	299	348	522	673
	人員・時間数	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人
	人件費	85	85	85	85	85
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	462	384	433	607	758
特定財源	0	0	0	0	0	

6 個別評価

(1) 達成度・・・目標をどれだけ達成したか		
評価 B ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 74.0%
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%>)	

$\frac{a}{b} \times 100 = \frac{66.6}{90.0} \times 100 = 74.0\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
--	----------------------------	----------------------------

理由： 年度中に、廃止されたり、新たに実施される研修プログラムに柔軟に対応し、実施率の向上を図る必要がある。

(2) 必要性・・・時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している	理由： 法令改正や、社会システムの変革、最新技術の習得に対応するものも含まれ、適応している。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3) 経済性・効率性・・・費用対効果は妥当か		
評価 A ▼	A : 妥当である	理由： 業務の性格上、専門知識や資格が必要な場合が多く、妥当である。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4) 事業の代替性・・・県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由： 一般廃棄物の処理は、市町村固有の事務であり、代替の可能性はない。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5) 市民満足度・・・対象市民の満足は得られているか		
評価 A ▼	A : 満足できる	理由： 市民生活に密着した廃棄物の処理を円滑に実施するためには、職員の研修は欠かせることができない。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6) 有効性・・・当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A : 有効である	理由： 職員一人一人の知識、技術、認識の向上が問題解決、政策推進の基礎となるため有効。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明： 知識、技術、認識の到達点と、要する时期的な問題がある。「誰に、何を、どこまでするのか」が向上の余地</p>	
	<p>コスト改善余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明： 試験・資格の受験費用や、講習の受講料が多く、コストの改善は望めない。</p>	

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		説明	今後とも継続して、職員の資質の向上に努める。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点